

## 4 - 3 J X T G エネルギー(株) 室蘭製造所

当所では、有害大気汚染対象物質のうち、該当するベンゼンについて自主管理計画を作成し、タンクの構造を変更するなど一連の削減対策を完了しています。更に、自主目標値の達成後も継続して排出削減に努めると共に、事業所周辺の大気中ベンゼン濃度についても測定監視しています。

その他の環境関係の取り組みとしては、環境負荷低減活動や地域貢献活動の他、環境情報の公開にも努めています。

以下に、ベンゼン関係及び環境関係の取り組み内容について、ご紹介させていただきます。

### 1. ベンゼン関係

#### (1) ベンゼン蒸散対策

ガソリントankの構造を固定屋根式から浮屋根式に改造する対策については、平成 22 年までに全 6 基を完了しました。(図 1 参照)

また、平成 21 年にベンゼンを原料とするキュメン製造装置を稼働したことにより、製品ベンゼンの出荷を減少させ、出荷作業に伴う大気への排出量を削減しました。(図 2 参照)

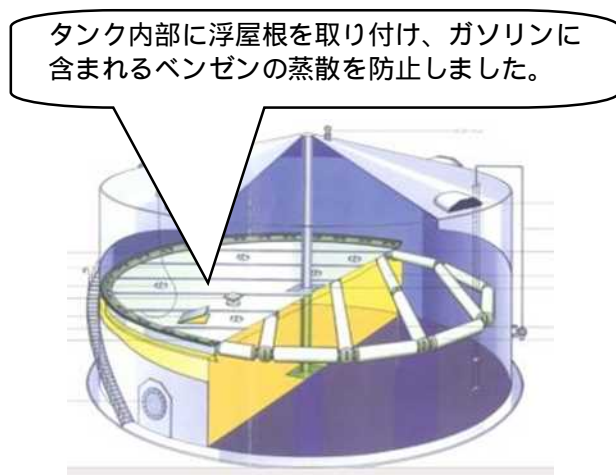


図 1 浮屋根式タンクへの改造

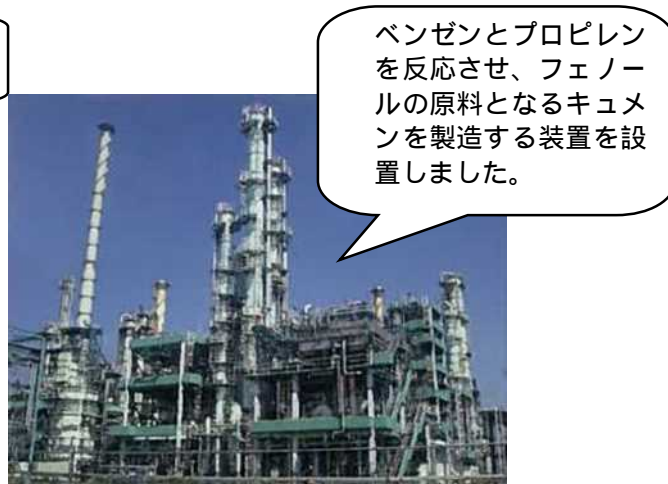


図 2 キュメン製造装置

#### (2) 大気中へのベンゼン排出量

平成 29 年度の大気中へのベンゼン排出量は、自主目標値 3.9t/年以下に対し、1.1t/年となっています。

表 1 平成 29 年度の大気中へのベンゼン排出量 (単位：t/年)

測定項目	自主目標値	排出量
ベンゼン排出量	3.9 以下	1.1

### (3) 事業所周辺の大気中のベンゼン濃度調査結果

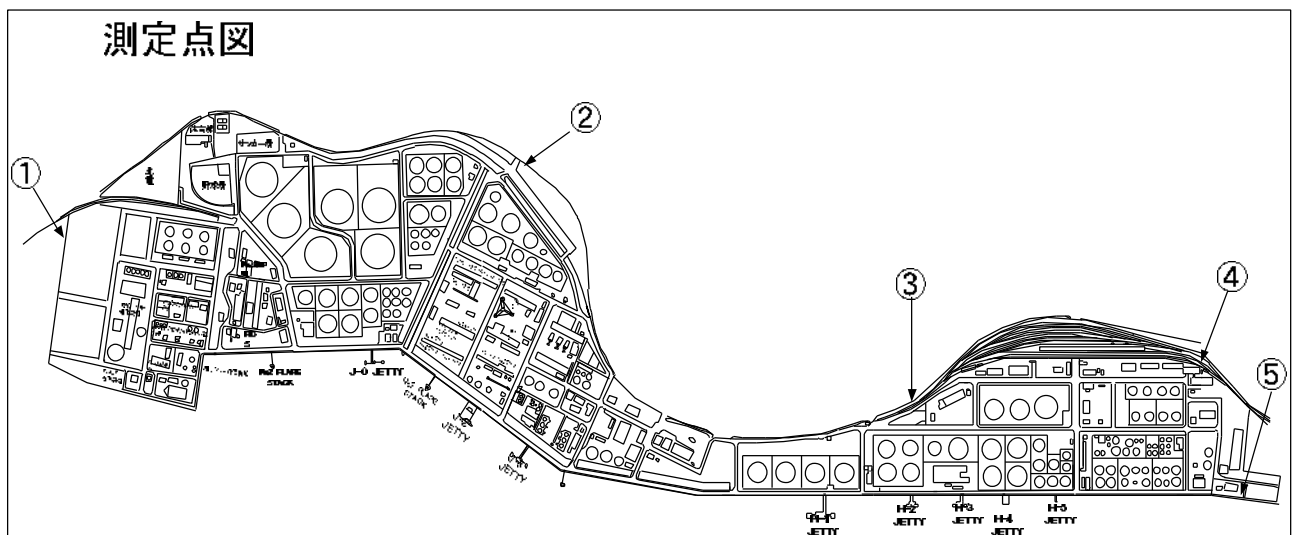
当所の敷地境界 5 ヲ所について定期的に大気中のベンゼン濃度の測定を行い、周辺への影響について調査しています。

その結果、平成 29 年度の各測定箇所の年平均値は何れも環境基準値の  $3.0\mu\text{g}/\text{m}^3$  \*注 1 を大きく下回っています。

\*注 1 環境基準値とは、国が定めたもので、人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい値

表 2 平成 29 年度の敷地境界での大気中ベンゼン濃度測定結果 (単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

測定項目	測定箇所	測定箇所	測定箇所	測定箇所	測定箇所
ベンゼン濃度	0.2	0.6	0.3	0.4	1.5



## 2. 環境関係の取り組み状況

### (1) 環境負荷低減への取り組み

#### 地球温暖化対策の推進

地球温暖化防止対策の一環として、省エネルギーの推進に取り組んでいます。平成 29 年度は、前年度対比 6.4 千 k の燃料使用量を削減しました。

#### 廃棄物対策の充実

弊社は全社的に廃棄物のゼロエミッション(埋立処分率 0.5%未満)を目標に掲げており、当所は平成 16 年度に目標を達成し、以降も継続して目標を達成しています。

## (2) 地域貢献活動について

### ENEOS の森について

ENEOS の森とは、地方自治体又は(公社)国土緑化推進機構とパートナーシップを結び一定エリアの未整備な森林の保全活動を全国 8 箇所で開催しています。

道内では、千歳市蘭越、蘭越国有林内(3ha)について、植樹や間伐などのボランティア活動として森林の保全活動を毎年実施しています。



### ENEOS わくわく環境教室について

貢献活動の一環として平成 20 年度より「ENEOS わくわく環境教室」を展開しています。

当社の社員が講師となり小学校などに赴き、「環境やエネルギー」に関する説明や実験等を行い、次世代を担う子どもたちに「石油の大切さ」や「当社の環境への取り組み」などについて楽しく学んでもらうことを目的としています。

昨年は、地元の小学校や中学校に訪問させて頂きました。





## なつやすみ科学バスツアーについて

当社グループはCSRの取り組みとして室蘭製造所を含む10事業所において「なつやすみ科学バスツアー」を毎年8月に開催しています。ツアー参加者には当社が行なっている環境や安全への取り組み内容について、紹介しています。



ENEOS イメージ  
キャラクターの  
「マカベリオン」



## 集合煙突のライトアップについて

平成 26 年に、高さ 180m の集合煙突の塗替えを行い、ライトアップを行っています。



## CSR レポートについて

弊社は毎年「CSR（企業の社会的責任）レポート」を発行し、環境情報の開示を行っており、JXTG ホールディングス株のホームページから参照することができます。

